



おしえて、聞かせて 青森市民病院 医療最前線

青森市民病院情報誌

# ほほえみ

令和四年秋・冬号(Vol. 97)

■新任医師紹介

■第5回  
川柳フェスティバル  
入選結果

■先生、教えて！  
今流行っている病①  
手足口病について

■先生、教えて！  
今流行っている病②  
梅毒について

■がん相談支援  
センターのひろば②

当院の職員紹介⑨

青森市民病院 看護局長

小枝 文子



今回の当院の職員紹介シリーズ⑨は青森市民病院の看護局長の小枝文子さんです。小枝局長にはお忙しい中取材の時間を作って頂きました。



青森県青森市です。大学は弘前でした。他、県外へ出たのは、二二へ就職してから一年くらいです。勉強のために栃木県の自治医科大学(小児外科)へ行つたことがあります。その後は、ずっと青森市にいます。

●出身はどちらですか？

「失敗も成功も  
いつかは必ず役に立つ！」

青森市民病院  
看護局長

小枝 文子

●尊敬する人は？

小さい頃にかわいがってくれたおばさんが病弱で、私が中学生になった時に何か自分にできることはないかと思ったことが最初のきっかけです。そこから、父親が手に職を持たせたいと思い看護師を勧めてきたのもきっかけの一つです。

●看護師になろうとしたきっかけは。



看護学校の時の恩師が尊敬する人です。もう亡くなってしまったのですが外科系の先生でした。その先生がよく言っていた言葉が2つあります。「ナーススコールは患者さんの命綱。ナースコードを押されたら飛んでいきなさい！」ということと、もう一つ「看護師の業である診療の補助は、検査や手技だけでなく後始末まできちんとできて初めて『できる』ということになります。準備や介助ができる後始末ができなければ『できる』ことにはならない」。この2つの言葉が今も教えとして常に頭にあります。これは、看護に

関わらず、仕事をする上で大事なことだと思いました。この教えを守り仕事をしてきましたが、これからも教え伝えていこうと思います。

非常に厳しい恩師でしたが、看護とは何か、何をする人なのか、どのように行動することが必要なのか、常に考えるなどを学生時代に教え込まれた記憶があり、とても尊敬する先生でした。良い先生に巡り会えたと感じています。

### ● 看護師としてやりがいを感じることは？

率直に、状態の悪い患者さんが、日毎に元気になる姿を見るとやりがいを感じます。それは、動けなかつた患者さんが日々のリハビリで動けるようになつたり、飲み込み困難だったのに上手に飲み込むようになつたり、自分でトイレに行けるようになつたりなど、程度に関わらず、看護の力が回復の手助けになつたと実感できるからです。

また、その患者さんが元気になつていい姿を見て、ご家族が喜んでいる姿を見

るとさらにうれしく思うし、やりがいを感じます。看護師の業は、「療養上の世話」と「診療の補助」となつています。急性期看護では、「診療の補助」も重要ですが、同時に、急性期の段階から様々な機能が低下しないよう「療養上の世話」をしていくことが必要だと感じています。看護のプロだからこそできる「療養上の世話」を目指したいと考えます。

そして、今の立場になると、看護師の成長にもやりがいを感じます。

知識や技術面での成長に加えて、看護局の理念である「人に優しく、思いやりのある看護を提供します」が実践できる看護師が育つことにやりがいを感じます。患者さんやご家族に寄り添い、安心して治療が受けられるよう対応できることは看護の重要な役割だと認識しています。看護のプロとして自分を磨き、成長できることを看護職員に望むと共に、成長できるよう支援することが私の役割だと思っています。



(庭の様子)

### ●趣味やいま興味を持っていることは？

料理、温泉、家飲み（お気に入りのグラスと器でゆっくり食事すること）。他には、ガーデニングが趣味です。我が家の中庭には様々な植物や花が植えられており、春には雪解けと共に福寿草が咲き、ふきのとう、ゼンマイ、ウドなどの山菜が芽を出し、クロツカス、チユーリップ、梅、しだれ桜、椿、ぼたん、ツツジ、大手マリなどが咲きます。5月頃が最も花が咲き乱れる頃となります。我が家では、この頃クリスマスローズも咲きます。初夏にはもみじの新緑が映え、ゆり、夏ツバキ、ハイビスカス、キーウィの花が咲き、秋にはアケビやキーウィの実が収穫できます。日々の手入れはあまりできていませんが、手入れができる時には、庭師となつて朝から晩まで思いっきりやっています。普段は、隙間時間を利用して、花木の剪定や草取り、芝刈りと地道に作業し、自然に触れてストレス解消しています。最近では、松の剪定を3年ぶりに行いさっぱりしました。ド素人の剪定ですが、一応形になつていると思っています。

食べるのも大好きで、直近では、栗をたくさん買って来て、栗の渋皮煮と栗ご飯を作りました。栗の皮むきになると！3時間もかかるてしまい、そこから仕込みに1日かかってしましました。その甲斐あって、とても美味しいいただきました。

温泉は遠くの温泉へよく行きます。最近はコロナの影響で遠出ができるいませんが、以前はよく岩手・福島等に長距離かけて温泉へ行っていました。岩手八幡平の松川温泉が好きです。

自然に触れること、食べること、温泉、この3つが私の元気の源だと思っています。

また、以前から興味があるのは、三味線と流鏑馬です。まずは、馬に乗れなければ話になりませんが、馬に乗つて草原を疾走したい！三味線で激しく演奏したい！という願望があります。馬は年齢的に無理かもしれません、三味線は実現できるといなあと思つています（笑）。



(庭の野菜や、お気に入りのグラス等)

## ●青森市民病院に期待することは？

部局の垣根を越えて、安全な医療を提供できる組織でありたいです。また、市民の皆さんに信頼され、愛されるよう、職員一丸となつて地域医療に貢献したいと考えます。

市民の皆さんから、「やっぱり市民病院はいいよね」と、自然に言つてもらえるような青森市民病院でありたいと思います。

## ●好きな（大切にしている）言葉は

大切にしている言葉は、3つあります。「失敗も成功もいつかは必ず役に立つ！」「困難があつても簡単に諦めない」「柔軟に考える」と言う言葉です。

実際、失敗したことも成功したこともありますが、役に立たない経験はありませんでした。失敗もポジティブに考えれば、良い経験であり、何事も考え方次第だと思います。つまりは、自分の考え方一つで、良くも悪くもなり方向性が変わると考えます。

困難なことも、これまでたくさんありました。しかし、いつの時も簡単に諦めず、どうしたらできるのかという視点で物事を考えることで、実現可能になりました。

## ●ほほえみを読んでいただいている市民の方へ

私は、コロナが続いている今こそ、看護の力を発揮する時だと思っています。看護職は、患者さんの最も近くにいる存在です。私たち看護職は、そのことを常に心に留めて患者さんやご家族に接し、安心して入院生活を送り、外来通院ができるように務めています。今後も患者さんやご家族に寄り添い、人間優しく、思いやりのある看護を提供できるよう努めて参ります。

柔軟に考えることについては、自分の思考が偏らないように意識的に行っています。できるかどうかは後で考えることにして、まずはアイデアをだすことにして、ますはアイデアをだすことにはまらず、自由に考えることから良いアイデアが生まれると思っています。



# 新採用ドクター紹介

今年、5人の新しい先生が青森市民病院に  
きてくださいました。自己紹介をお願いしました。

①糖尿病内科 医師

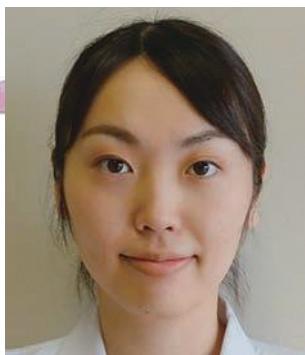
②田村 亜由美

③青森市

④カフェ巡り・ゲーム

⑤牛タン・紅茶

⑥およそ25年前に松原の官舎に住んでいました。  
久しぶりの風景を懐かしんでいる毎日です。  
いろいろとお世話になることが多いと思  
いますがよろしくお願ひします。



① 所属・職名

② 氏名

③ 出身地

④ 趣味・特技はありますか？

⑤ 好きな食べ物は？

⑥ 今後の抱負など一言

①整形外科 医師

②山本卓司

③福岡県

④ソフトテニス

⑤惣菜パン

⑥どうぞよろしくお願ひいたします。



①外科 部長

②内田 知顕

③東京都

④ドライブ

⑤デラウェア

⑥主に消化器外科領域で入院される患者様を  
担当しております。丁寧な診察を心がけ市民  
の皆様のお役に少しでもたてればと思って  
おります。よろしくお願ひします。



①麻酔科医師

②内田達士

③沖縄県

④ブラインドでワインの品種と生産地を当  
てられます。

⑤ゴーヤー

⑥赴任期間は10~12ヶ月と短いですが宜しく  
お願ひします。



①脳神経外科 医師

②野村 優

③千葉県

④トレーニング

⑤何でも食べます。

⑥皆様のお役に立てるよう頑張ります。

